

2022 年 4 月 19 日

第 53 回中化連特別討論会

分析化学の新潮流－新しいメディアの利用－

企画担当：日本分析化学会中部支部
愛知工業大学 手嶋紀雄

化学の研究において分析法は至る所に登場する。生命現象をはじめ、地球環境、新素材などを分子レベルで解析するには分析法が不可欠だからである。さまざまな分野における高度な要求に応えるために、新しい“メディア”を積極的に用いる分析法が開発されている。ここでの“メディア”とは、分析対象物質を認識し分離する媒体と定義する。例えば、溶液化学を用いる分析法ではその溶媒のことであり、また界面反応、分子認識、マイクロ分離場など物質と物質との選択的・特異的相互作用を起こす場のすべてを指す。本特別討論会では、第一線の分析化学の研究者をお招きし、最新の研究成果をご紹介いただく。

日程：2022 年 11 月 5 日(土)・6 日(日)

会場：オンライン

世話大学：愛知工業大学

招待講演 2 件<交渉中>

- (1) 栗原 誠 (静岡大学)
- (2) 江坂 幸宏 (岐阜薬科大学)

依頼講演 4 件<交渉中>

- (1) 北川 慎也 (名古屋工業大学)
- (2) 巽 広輔 (信州大学)
- (3) 源明 誠 (富山大学)
- (4)